

< 集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例 >

集落全体での営農継続を目指す取組

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県宇部市 <small>うべし</small> 大山(下) <small>おおやま しも</small>			
協定面積 9.2ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 151万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬		3%
		体制整備に向けた活動費等		17%
		水路・農道維持管理費		11%
		農地維持管理費		18%
	事務費等		1%	
協定参加者	農業者 6人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

大山(下)集落(樋ヶ口地区・猪ノ木地区)では、昔から個人で農地を守ってきたが、水路・農道の管理及び周辺林地の下草刈り等、個人の力だけでは難しい作業が問題となっていた。その頃、中山間地域等直接支払制度が始まり、その制度を集落で活用することが問題解決の糸口になると考えた。

第1期対策は樋ヶ口と猪ノ木の2つの集落協定でスタートし、主となる農道を全て舗装することが出来た。その後、集落での会合の活発化、共同作業を通じて、自分さえ良ければよいといった意識がなくなり、集落全体のまとまりが良くなってきた。

そして、第2期対策では2つの集落協定は統合され、大山(下)集落協定として取り組みを始め、防護柵・電気柵の設置や周辺林地の管理を協力して行うことが出来た。

3. 取組の内容

第3期対策からは、防護柵・電気柵の補修や周辺林地の管理に取り組んでいる。特に、農地周辺の自然環境整備(大木の伐採等)に力を入れ、農地の日照不足の解消を図っている。

また、法人を核とした安定的な農業経営を行っていけるよう、平成25年9月に農事組合法人ファーム17を設立(経営面積:30ha)し、大山集落全体での営農活動を活発化させている。



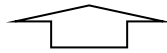
【作業風景】



【ファーム17設立総会】

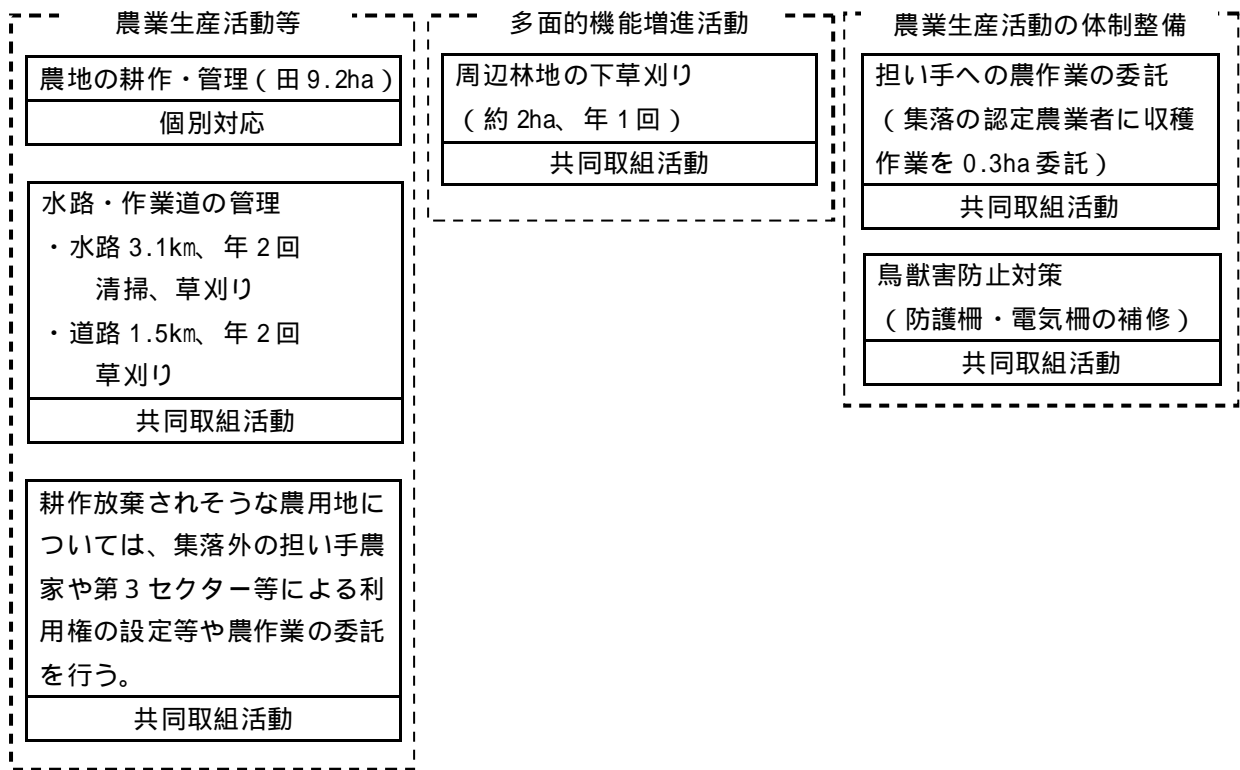
[集落の将来像]

集落ぐるみの農業生産活動等体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

交付金を共同取組活動へ 50% 配分し、耕作や適切な農用地の維持管理することにより耕作放棄を防止し、共同作業により農道・水路等の整備をする。また、水路・農道の管理作業及び周辺林地の下草刈り作業を共同実施することにより、集落内で農業生産活動等を継続できる体制を整備する。



4 . 今後の課題等

現在、大山集落では 3 つの集落協定【大山(上)、大山(中)、大山(下)】が中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる。今後は、法人を中心とした活動を行い、大山集落全体で制度に取り組み、各集落間での意見交換を活発化させたい。

[第 2 期対策の主な成果]

共同取組活動により地域の一体感が向上
防護柵・電気柵の設置
水路・農道の管理及び周辺林地の下草刈り